中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業環境監視・検討委員会
第３回海藻草類移植・保全 WG 議事概要

WG の主な内容

①手植え移植の途中経過の報告・観察

- 今回の WG では、手植え移植直後の初期状態を確認。
- 現地視察では、一部で葉枯れ等を確認した。主たる原因は移植によるストレスと考えられるが、成長が遅い季節であることも影響していると思われる。引き続き観察を続ける。５、６月の成長期が判断しやすい。
- 海底の還元層が表面に露出している場所有り。注視して観察を続ける。
- 注）還元層：通常は、地表面 10ｃｍ以深にある、黒っぽい層
- 施工は、ていねいに行われていた。

②平成 13 年度に行った機械化移植実験の途中経過の報告・観察（台風後の回復等）

- 今回の WG では、台風後の回復状況を確認。成長が遅い季節であり、今のところ顕著な回復は見られない。引き続き観察を続ける。（現時点では台風前のレベルには戻っていない）。
- 現地を見ての印象
  - ① 台風にも耐え残ったものは生理状態良い。
  - ② 移植海草は、まだまだ被度が低い。
  - ③ 地形がなめらか、堆積傾向（※砂面変動を計測しているのでデータが揃えば資料に記述を）

③機械化移植工法の導入に向けた課題の整理

- 従来どおりラグフェイズ後１年間（本年５月）及び現在施工中の減耗対策の効果を確認していく。
- 評価に当たっては、H10、７の手植え移植実験の経過が参考となる。引き続き測定し、データ出しする。

④工事によるクビレミドロ生息地への影響（水質調査）の報告

- 現時点で、工事によりクビレミドロ生息地への影響は認められない。

⑤クビレミドロの現地移植実験の報告

- 移植実験　１歩前進。（勝連で藻体発生）
- 引き続き現地での移植の確立に向けて実験を継続する。

⑥クビレミドロの室内培養実験の報告

- 引き続き、培養技術の確立に向けて、実験を継続する。

⑦その他

・手植え移植地の生物相の調査を追加する。